

広報・教育部門

応募事例名

デザインマンホール「アマビエすくすくくん」 ～地域に根差したキャラクターで足元から元気に～

応募団体名) 佐賀市

応募事例の概要

地域のまちづくり協議会と**小学校**と連携しデザインマンホールを設置。

まちづくり協議会

キャラクター：「アマビエすくすくくん」

小学校のキャラクター「すくすくくん」と妖怪「アマビエ」を合体してデザインした。

このキャラクターを使ったキーホルダーを小学校に寄贈し、小学校と交流を深めている。

小学校

標語：「若楠っ子 みんな元気 笑顔 仲良し!!」

地元小学校にキャッチフレーズを募集。

60名を超える児童が応募した中から選んだ。

テーマ：「みんなが元気になれるメッセージ」

上下水道局

設置場所：地元小学校の校庭

子どもの成長の場、住民との交流の場として、地元の人が必ず一度は目にする場所を選んだ。

広報：上下水道だより

年2回発行している冊子に掲載。全戸配布。



PRポイント

- ・地域の協議会、小学校、上下水道局の三位一体となって取り組んだ。
- ・近年、デザインマンホールに使用されるキャラクターは、有名なアニメやゲームのキャラクターあるいは自治体公認のマスコットが主流であったが、今回は地域のまちづくり協議会がデザインしたキャラクターを採用した。
- ・観光客や県外の方を対象とするのではなく、あえて地域の方にフォーカスをあて、地域から発信していこう、下水道を知ってもらおうという点を意識し、「キャラクター」「標語」「設置場所」を全て地域におさめることで、より身近で愛着がわくように仕掛けた。

取組みに関するエピソード

このデザインマンホールは、佐賀市若楠校区まちづくり協議会から問い合わせがあり、企画に至りました。設置場所については、候補地を歩き回った結果、若楠小学校敷地内に適当なマンホールが見つかり、これだ！と思いました。児童にも親しみやすい、校区内の誰もが目にする場所に設置できたのではないかと思います。デザインについても、若楠校区のキャラクター「すくすくくん」がベースとなっておりますので、児童だけではなく、地元の方々から愛されるマンホールになってくれればと願っています。そして、この「アマビエすくすくくんマンホール」が、足元から子ども達を支えてくれることを期待しています。



下水プロジェクト推進部
下水道企画室 副室長
北村 常哉